

## 1 研究テーマ

「楽しさを広げる図画工作科の鑑賞教材」  
～作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動をめざして～

## 2 はじめに

学習指導要領には、鑑賞活動を幅広くとらえ、見る・感じるだけでなく、触れる、聞く、やってみる、参加してみるなど体全体の感覚を働かせ、感じ取るようにすること。また、自分の表現活動と重ねて見たりするなどの能動的な鑑賞が行えるように、鑑賞の活動や鑑賞する対象を幅広く捉えることが大切であることが示されている。さらに、児童や学校の実態に応じて、鑑賞活動を全学年独立で行ったり、地域の美術館などを利用したりすることもできるようになった。

そこで、本研究では、今までの表現活動に付随した鑑賞教育を見直し、鑑賞教育を図画工作科における2本柱の1本として指導できるように、地域の実態などにも配慮し、学校で使い易い教材や指導法の在り方を探るものとする。

## 3 鑑賞活動の現状

- (1) 付随的な活動になっていた
- (2) よい教材や指導法がない
- (3) 鑑賞の時間が確保されていない
- (4) 指導者の教え込みの学習になっていた
- (5) 社会の変化に対応していない

## 4 研究の仮説

鑑賞教材を工夫することで、楽しさを広げる鑑賞活動ができる。

## 5 鑑賞教材の開発にあたって

子どもの  
発達段階の考慮

指導者の  
発想の転換

社会の  
変化の考慮

指導者の興味・関心

大学や博物館・教育  
センター等での  
研修の活用

### 鑑賞教材Ⅰ 造形作品の製作過程

- \* 対象 小学校3・4年生
- \* 領域 鑑賞(1)・・・2時間  
表現(2)・・・2時間

チェーンソーアートの製作過程



下描きなしで、  
作っている。

すごい  
迫力。



作品に触れて

木のおいがする。  
細かいところまでできている。

### 鑑賞教材Ⅱ 海外の子どもたちの絵画

- \* 対象 小学校5・6年生
- \* 領域 鑑賞(1)・・・2時間

「面の踊り」の絵画（韓国）



「遊び」の絵画（韓国）



### 鑑賞教材Ⅲ 本物の美術作品 (県立博物館の作品)

\*対象 小学校5・6年生

\*領域 鑑賞(1)・2時間

画材による  
表現の違い

〈油彩〉



福留章太「アントロポス」

〈版画〉



橋本興家「霧の日」

〈水彩〉



木原義明「山陰海岸」

### 鑑賞教材Ⅳ 環境の中の造形物

\*対象 小学校5・6年生

\*領域 鑑賞(1) 4時間

自然



〈鳥が止まっているみたい〉

人工



〈○△□のおしゃれな窓〉

## 7 研究のまとめ

研究の成果として、指導者が鑑賞に対する発想の転換をし、鑑賞活動の場を狭い空間にとどめず拡げて、たくさんの方に協力をお願いしながら鑑賞教材を開発していけば、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動につなげることができる。

## 8 おわりに

今回の実践を進める中で「子ども達の学習のためなら手伝いをしたい」という気持ちをたくさんの方が持っておられることを実感した。教材の収集から授業の組み立てまでいろんな場面で支援をいただいた。

今回の研修でできたつながりを大切にしていきたいのは勿論であるが、今後も教材化したいものがあれば積極的にたくさんの方にアタックして協力をお願いしていきたい。